



ペンネーム	匿名希望
【エピソードのタイトル】 最大のおもてなしに感動！	
【エピソードの内容】 第1回大会から参加しています。 実はこの大会参加が初マラソンでした。地元は、愛媛ですが愛媛マラソンは、当時 制限時間が4時間であり完走率の低い大会でした。そこで愛媛マラソンに臨む前にどこか近場で度胸試しできるマラソン大会がないか？ 調査しますと 第1回のピカピカのマラソン大会にめぐり合いました。それがこの大会です。 初めての知らない土地でのマラソンで、しかも一人で参加し 少し心細かったのですが、下関駅に降り立つと無数の応援のぼりが立ち、大歓迎されていることに気がきました。驚いたことには、その一つ一つを見ていきますとなんと手書きのメッセージが書かれているではありませんか 印刷機で印刷したものとは違い 手間隙かけた心がらの応援を実感し気持ちは、心細さからやる気になりました。全ては読むことは不可能ですがあちこちで立っているのぼりを見るたびに維新をやったお国がらか、やるとなったらとことんまでやる風土があるなと感じ、やる気も出ました。 また 開会式では、市長の熱いメッセージや自らの解説を含めたコース説明をしていただき、大会では、市長自らランナーとして参加され 率先して盛りあげていることを感じました。市長と声をかけながらのラン楽しかったです。 大会中は、各所にブラスバンドやイベントを配置していただきランの苦痛をやわらげていただきました。 また 多くのボランティアによる給水・給食の設定・安全確保 万全の体制で申し分のない大会運営でした。 回を重ねるたびに内容も充実してきており主催者・関係者の努力を感じます。 その強いおもてなしを紹介し、第2回大会には2人で、第3回大会は4人で参加し 今回も3人で参加いたします。 マンネリ化せず 主催者・関係者の思いがいつまでも続くような手作りの大会であってほしいと願います。	